(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第5263541号
(P5263541)

(45)発行日　平成25年8月14日(2013.8.14)　(24)登録日　平成25年5月10日(2013.5.10)

(51)Int.Cl.　F I
G06F 3/048 (2013.01)　G06F 3/048 656C
G06F 3/0485 (2013.01)　G06F 3/048 656D

請求項の数 2　(全 10 頁)

(21)出願番号　特願2009-230047(P2009-230047)
(22)出願日　平成21年10月2日(2009.10.2)
(65)公開番号　特開2011-76555(P2011-76555A)
(43)公開日　平成23年4月14日(2011.4.14)
審査請求日　平成24年7月6日(2012.7.6)

(73)特許権者　710014351
オンキヨー株式会社
大阪府寝屋川市日新町２番１号
(72)発明者　樫　俊太郎
大阪府寝屋川市日新町２番１号　オンキヨー株式会社内

審査官　田中　秀樹

最終頁に続く

(54)【発明の名称】情報表示装置およびそのプログラム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の情報を含む情報リストを、各情報について所定文字数のみ一度に表示可能な表示装置に表示させる情報表示制御装置であって、
前記表示装置に表示されている複数の情報の中から１つの情報を選択する選択手段と、
前記選択手段によって選択されている情報について、前記選択手段によって選択されていない他の情報の少なくとも１つと、先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字を特定する文字特定手段と、
前記選択手段によって選択された情報を、前記文字特定手段によって特定された文字が前記表示装置に表示されるまで、第１速度でスクロール表示させ、前記文字特定手段によって特定された文字が前記表示装置に表示された後、前記第１速度よりも低速である第２速度でスクロール表示させる表示制御手段とを備え、
前記選択手段によって選択されている情報について、先頭文字から前記所定文字数の文字が同じである前記選択手段によって選択されていない他の情報が存在しない場合、前記表示制御手段が、前記選択手段によって選択されている情報を常時前記第１速度でスクロール表示させる、情報表示制御装置。
【請求項２】
請求項１に記載の情報表示制御装置の各手段をコンピュータに実行させる、情報表示制御プログラム。
【発明の詳細な説明】

【技術分野】
【０００１】
本発明は、情報表示装置およびそのプログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
ＨＤＤやフラッシュメモリなどに記録されている複数のオーディオファイルの中からユーザ操作によって選択されたオーディオファイルを再生するコンテンツ再生装置が利用されている。ユーザが複数のオーディオファイルの中から所望のオーディオファイルを探すために、コンテンツ再生装置の表示部には、オーディオファイルのコンテンツ情報の一覧であるコンテンツ情報リスト（アーティストリスト、アルバムリスト、曲リストなど）が表示される。
【０００３】
コンテンツ再生装置の表示部は、コンテンツ情報リスト内の各コンテンツ情報（例えば、アルバムリストの場合、アルバム名であり、以下、アルバム名を例に説明する。）を一度に（つまりスクロールせずに）表示できる文字数に制限がある。例えば、アルバム名を一度に５文字しか表示できない。ここで、一般的にアルバムリストは、アルバム名が昇順又は降順に列挙されるので、表示されているアルバムリスト内の複数のアルバム名について、一度に表示できる文字数の文字列（例えば先頭から５文字）が同一である場合、ユーザはこれらの複数のアルバム名を区別することができない。例えば、図２（ａ）に示すように、アルバムリストの００１番目のアルバム名が「ＡＢＣＤＥＦＧＨ３」であり、００２番目のアルバム名が「ＡＢＣＤＥＦＧ」であったとしても、共に「ＡＢＣＤＥ」と表示されるので、これらを区別することができない。
【０００４】
そこで、フォーカス（カーソル）が表示され選択されているアルバム名を左方向へとスクロール表示させることにより、すべての文字を順次表示する方法が採用されている。しかし、複数のアルバム名について、アルバム名の大部分が同一である場合には、アルバム名のスクロール表示をかなり注視しないと、アルバム名を区別することが困難であるという問題がある。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００５】
【特許文献１】特開２００１－１８４１５２号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
本発明は上記従来の課題を解決するためになされたものであり、その目的は、表示される情報リストに含まれている各情報について、各情報の大部分の文字が同じである場合にも、容易にそれの情報を区別することができる情報表示制御装置を提供することである。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
本発明の好ましい実施形態による情報表示制御装置は、複数の情報を含む情報リストを、各情報について所定文字数のみ一度に表示可能な表示装置に表示させる情報表示制御装置であって、前記表示装置に表示されている複数の情報の中から１つの情報を選択する選択手段と、前記選択手段によって選択されている情報について、前記選択手段によって選択されていない他の情報の少なくとも１つと、先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字を特定する文字特定手段と、前記選択手段によって選択された情報を、前記文字特定手段によって特定された文字が前記表示装置に表示されるまで、第1速度でスクロール表示させ、前記文字特定手段によって特定された文字が前記表示装置に表示された後、前記第1速度よりも低速である第２速度でスクロール表示させる表示制御手段とを備える。
【０００８】

選択手段によって選択された情報を、文字特定手段によって特定された文字が表示装置に表示されるまで、高速である第1速度でスクロール表示させる。また、文字特定手段によって特定された文字が表示装置に表示された後、低速である第２速度でスクロール表示させる。従って、選択された情報を一意に特定できる文字が表示装置に表示される際には、低速で情報がスクロール表示されるので、選択された情報を他の情報と容易に区別することができる。また、選択された情報を一意に特定できる文字が表示装置に表示されるまでは、高速で情報がスクロールされるので、選択された情報を一意に特定できる文字が表示装置に表示されるまでに時間がかかるという問題を解決できる。

【０００９】

好ましい実施形態においては、前記選択手段によって選択されている情報について、先頭文字から前記所定文字数の文字が同じである前記選択手段によって選択されていない他の情報が存在しない場合、前記表示制御手段が、前記選択手段によって選択されている情報を常時前記第１速度でスクロール表示させる。

【００１０】

この場合、選択された情報をスクロールさせる前から、選択された情報を一意に特定できる文字が表示装置に表示されている。従って、途中でスクロール速度を変更する必要がないので、選択された情報を常に高速でスクロールさせることにより、迅速に選択された情報の全体を表示装置に表示させることができる。

【００１１】

本発明の別の好ましい別の実施形態による情報表示制御装置は、複数の情報を含む情報リストを、各情報について所定文字数のみ一度に表示可能な表示装置に表示させる情報表示制御装置であって、前記表示装置に表示されている複数の情報の中から１つの情報を選択する選択手段と、前記選択手段によって選択されている情報について、前記選択手段によって選択されていない他の情報の少なくとも１つと、先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字を特定する文字特定手段と、前記選択手段によって選択された情報を、前記文字特定手段によって特定された文字の次の文字から最後尾の文字までのいずれも前記表示装置に表示されていないとき、第1速度でスクロール表示させ、前記文字特定手段によって特定された文字の次の文字から最後尾の文字までのいずれかが前記表示装置に表示されているとき、前記第1速度よりも低速である第２速度でスクロール表示させる表示制御手段とを備える。

【発明の効果】

【００１２】

表示される情報リストに含まれている各情報について、各情報の大部分の文字が同じである場合にも、容易にそれの情報を区別することができる情報表示装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１３】

【図１】本発明の好ましい実施形態によるコンテンツ再生装置1の構成を示すブロック図である。

【図２】表示部７に表示されるアルバムリストのスクロールの遷移を示す図である。

【図３】図２のアルバムリストに表示される各アルバム名を説明する図である。

【図４Ａ】制御部２の処理（情報表示制御処理）を説明するフローチャートである。

【図４Ｂ】制御部２の処理（情報表示制御処理）を説明するフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【００１４】

以下、本発明の好ましい実施形態による情報表示制御装置が適用されるコンテンツ再生装置について、図面を参照して具体的に説明するが、本発明はこれらの実施形態には限定されない。

【００１５】

図１は、コンテンツ再生装置１を示す概略ブロック図である。コンテンツ再生装置１は

、制御部２と、ＨＤＤ（又はフラッシュメモリ）等の記録デバイス３と、ＲＯＭ４と、ＲＡＭ５と、ＤＳＰ等の再生部６と、表示部７と、操作部８とを概略備える。

【００１６】

ＨＤＤ３には複数のコンテンツが記録されている。コンテンツは、映像データ、音楽データ、静止画データ等の総称であり、本例では、オーディオファイルである。ＨＤＤ３に記録されているオーディオファイルは、制御部２の指示によって再生部６によって読み出され、再生（例えば、デコード、ＤＡ変換、増幅処理等）される。再生されたオーディオ信号は図示しないスピーカー出力端子を介してスピーカー１００に出力される。

【００１７】

ＨＤＤ３には、コンテンツ情報データベースが格納されている。コンテンツ情報データベースは、ＨＤＤ３に記録されている全オーディオファイルについてのコンテンツ情報（メタデータであり、例えば、アーティスト名、アルバム名、曲名、ジャンル名、再生時間等）を管理する。また、ＨＤＤ３には、コンテンツ情報リストが格納されている。コンテンツ情報リストは、ユーザが所望のオーディオファイルを探すために表示部７に表示される情報リストである。コンテンツ情報リストには、複数のアーティスト名の一覧であるアーティストリスト、複数のアルバム名の一覧であるアルバムリスト、複数の曲名の一覧である曲リスト、複数のジャンル名の一覧であるジャンルリスト等が存在する。これらのコンテンツ情報リストは、一般的に、アルファベット順、又は、五十音順に、昇順または降順でコンテンツ情報が一覧化されている。

【００１８】

表示部７は、コンテンツ情報リストを表示するものであり、ＬＣＤ（液晶ディスプレイ）等が採用され得る。表示部７は、コンテンツ再生装置１自体に内蔵されていなくてもよく、外部接続されるものでもよい。表示部７は、コンテンツ情報リストを表示する際に、コンテンツ情報リストに列挙されている各コンテンツ情報について一度に（「一度に」とは「スクロール表示せずに」という意味である。）表示できる文字数が制限されている。例えば、図２に示すように、表示部７は、各コンテンツ情報について一度に５文字しか表示することができない。なお、図２は、アルバムリストを示しているが、アルバムリストに含まれる複数のアルバム名の内の５つのアルバム名が表示されている。

【００１９】

操作部８は、ユーザ操作を受け付けるものであり、コンテンツ再生装置１の筐体に設けられた操作ボタンや、リモコン送受信装置等である。操作部８によるユーザ操作によって、表示部７に表示されるコンテンツ情報リスト内の１つのコンテンツ情報にフォーカス（カーソル）を表示させ、１つのコンテンツ情報を選択することができる。図２（ａ）では、００１番のアルバム名にフォーカスが表示されている。フォーカスが表示されているコンテンツ情報は、左方向にスクロール表示させることによって、全文字列を表示させることができる。

【００２０】

制御部２は、ＲＯＭ４等に格納されている情報表示制御プログラムをＲＡＭ５に読み出して実行することにより、後述する各処理（情報表示制御処理）を実行するものであり、マイコンやＣＰＵ等である。制御部２は、フォーカスが表示されているコンテンツ情報について、先頭の文字から表示部７に一度に表示可能な文字数の文字までの文字列（本例では５文字）が、選択されていないコンテンツ情報の文字列と同じであるか否かを判断する。同じであれば、制御部２は、フォーカスが表示されているコンテンツ情報について、選択されていないコンテンツ情報の文字列と区別することができない（同一である）文字の最後の文字を特定する。

【００２１】

制御部２は、区別することができない最後の文字が表示されるまでは、フォーカスが表示されているコンテンツ情報を、高速である第１速度でスクロール表示する。一方、制御部２は、区別することができない文字が表示された後は（つまり、選択されたコンテンツ情報を一意に特定できる文字が表示されるようになると）、フォーカスが表示されている

コンテンツ情報を、第１速度よりも低速の第２速度でスクロール表示する。

【００２２】

より具体的には、区別することができない最後の文字の次の文字から最後尾の文字までのいずれも表示部７に表示されていないときに、フォーカスが表示されているコンテンツ情報を第1速度でスクロール表示させ、区別することができない最後の文字の次の文字から最後尾の文字までのいずれかが表示部７に表示されているとき、フォーカスが表示されているコンテンツ情報を第２速度でスクロール表示させる。

【００２３】

以下、コンテンツ再生装置１のコンテンツ情報表示制御処理を説明する。図２は、表示部７に表示されるアルバムリストを示し、フォーカスが表示されている００１番のアルバム名が図２（ａ）から図２（ｆ）に進むにつれてスクロール表示される状態を示す。図３は、図２のアルバムリストに表示される各アルバム名の全体の文字列を説明する図である。例えば、００１番のアルバム名は「ＡＢＣＤＥＦＧＨ３」であり、００２番のアルバム名は「ＡＢＣＤＥＦＧ」である。図４Ａおよび図４Ｂは、制御部２の情報表示制御処理を示すフローチャートである。以下、コンテンツ情報がアルバム名である場合を説明するが、他の情報についても同様である。

【００２４】

制御部２は、表示部７に表示されているアルバム名（以下、文字列という。）に、例えばユーザ操作によって、フォーカスが表示されたか否かを判断している（Ｓ１）。本例では、図２の通り、００１番の文字列にフォーカスが表示される。フォーカスが表示された場合（Ｓ１でＹＥＳ）、表示部７に表示される１つの文字列（つまりアルバムリストの１行分、１つのアルバム名）の一度に表示可能な文字数の情報を取得し、maxStrLenに代入する（Ｓ２）。本例では、maxStrLenは５である。１つの文字列を１度に表示可能な文字数は、画面毎に予め定めれており、その情報はＲＯＭ５に記憶されている。次に、制御部２は、フォーカスが表示された文字列の全文字数がmaxStrLenより大であるか否かを判断する（Ｓ３）。フォーカスが表示された文字列の全文字数がmaxStrLen以下の場合（Ｓ３でＮＯ）、文字列をスクロールしなくても文字列全体を表示可能であるので、スクロール表示を実行せずに、処理を終了する。

【００２５】

本例では、フォーカスが表示された００１番の文字列の文字数は９文字である。フォーカスが表示された文字列の全文字数がmaxStrLenより大であるので（Ｓ３でＹＥＳ）、制御部２は、表示されている画面がリスト画面であるか（つまり、複数の文字列が表示されているか）否かを判断する（Ｓ４）。リスト画面でない場合（Ｓ４でＮＯ）、例えば、再生画面において１つのアルバム名のみが表示されている等、１つの文字列しか表示されていない場合、フォーカスが表示されている文字列を選択されていない文字列と区別できないという問題が生じないので、高速である第１速度で文字列を左方向にスクロール表示する（つまり、通常のスクロール表示を実行する）（Ｓ２０）。

【００２６】

リスト画面である場合（Ｓ４でＹＥＳ）、制御部２は、表示部７に表示され選択されていない文字列の中で、先頭文字からmaxStrLenまでの文字が、フォーカスが表示された文字列focusStrの先頭文字からmaxStrLenまでの文字と一致する文字列が少なくとも１つ存在するか否かを判断する（Ｓ５）。つまり、フォーカスが表示された文字列をスクロールする前は、フォーカスが表示された文字列を、選択されていない文字列と区別できないか否かが判断される。存在しなければ（Ｓ５でＮＯ）、フォーカスが表示されている文字列を、スクロール表示する前から、フォーカスが表示されていない文字列と区別することができるので、選択された文字列を第１速度で左方向にスクロール表示する（通常のスクロール表示を実行する）（Ｓ２０）。

【００２７】

Ｓ５で存在すると判断された場合（Ｓ５でＹＥＳ）、以下の処理で、制御部２は、フォーカスが表示されている文字列について、選択されていない文字列の少なくとも１つと、

先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字を特定する。まず、制御部２は、一致する文字列の個数をNとし、一致する文字列のアルバムリスト上の番号をリストラインナンバー配列line[i]に代入する（但し、i＝０，１，２、・・・）（Ｓ６）。本例では、番号が００２、００３、００５の文字列がフォーカスが表示されている文字列と一致するので、Ｎ＝３、line[０]＝００２、line[１]＝００３、line[２]＝００５となる。

【００２８】

制御部2は、フォーカスが表示されている文字列focusStr に対して、フォーカスが表示されていない文字列の同じである文字数をsameLenに代入する。ここでは、初期値として、sameLen=maxStrLenに設定される（Ｓ７）。本例では、sameLen=５となる。

【００２９】

制御部２は、リストラインナンバー配列line[i]の添え字ｉを０に初期化し、line[i]で特定される文字列のmaxStrLen以降の文字を特定するための添え字ｊを１に初期化する（Ｓ８）。次に、制御部2は、文字列変数Strに、line[i]の文字列を代入する（Ｓ９）。ここでは、ｉ＝０であるので、line[０]＝００２の文字列である「ＡＢＣＤＥＦＧ」がStrに代入される。

【００３０】

制御部２は、maxStrLen＋j 番目の文字について、フォーカスが表示されている文字列の文字と、line[i]で特定される文字列の文字とが同じであるか、つまり、focusStr[maxStrLen＋j]＝Str[maxStrLen＋ｊ]であるかを判断する（Ｓ１０）。ここでは、フォーカスが表示されている００１番目の文字列の６番目の文字がＦであり、line[０]＝００２の文字列の６番目の文字がＦであるので、同じである。同じでなければ（Ｓ１０でＮＯ）、次の文字列についてチェックするために、ｉをインクリメントし、ｊを１に初期化する（Ｓ１４）。同じである場合（Ｓ１０でＹＥＳ）、制御部２は、sameLenがmaxStren＋jよりも小であるか否かを判断する（Ｓ１１）。ここでは、sameLenが５であり、maxStren＋j＝６よりも小であるので（Ｓ１１でＹＥＳ）、sameLenをインクリメントし、６にする（Ｓ１２）。

【００３１】

制御部２は、フォーカスが表示されている文字列focusStrの最後の文字までチェックしたか否かを判断する（Ｓ１３）。ここでは、まだチェックし終えていないので（Ｓ１２でＮＯ）、制御部２は、ｊを２にインクリメントし（Ｓ１６）、Ｓ１０に戻る。つまり、各文字について順番にＳ１０～Ｓ１３の処理を繰り返す。ここでは、ｊ＝２のときにフォーカスが表示されている００１番の文字列の７番目の文字がＧであり、line[０]＝００２の文字列の７番目の文字がＧであり、同じであるので（Ｓ１０でＹＥＳ、Ｓ１１でＹＥＳ）、sameLenが７にインクリメントされる。次に、ｊ＝３のときにフォーカスが表示されている００１番の文字列の８番目の文字がＨであり、line[０]＝００２の文字列の８番目の文字が存在せず、異なるので（Ｓ１０でＮＯ）、ｉが１にインクリメントされ、ｊが１に初期化される（Ｓ１４）。すなわち、line[０]＝００２の文字列をチェックし終えた時点で７文字が同じであることが特定されている。

【００３２】

制御部２は、ｉがＮよりも小であるか（つまり、未だチェックしていない文字列が存在するか）を判断する（Ｓ１５）。ここでは、ｉが１であり、Ｎ＝３よりも小であるので、制御部2は、文字列変数Strに、line[１]＝００３の文字列である「ＡＢＣＤＥＦＧＰ」を代入する（Ｓ９）。

【００３３】

制御部２は、maxStrLen＋j 文字目について、フォーカスが表示されている文字列の文字と、line[i]で特定される文字列の文字とが同じであるかを判断する（Ｓ１０）。ここでは、フォーカスが表示されている００１番の文字列の６番目の文字がＦであり、line[１]＝００３の文字列の６番目の文字がＦであるので、同じである（Ｓ１０でＹＥＳ）。しかし、sameLen＝７であり、maxStren＋j＝６以上であるので（Ｓ１１でＮＯ）、sameLenをインクリメントしない。同様に、フォーカスが表示されている００１番の文字列の７

番目の文字がＧであり、line[１]＝００３の文字列の７番目の文字がＧであるので、同じである（Ｓ１０でＹＥＳ）。しかし、sameLen＝７であり、maxStren＋j＝７以上であるので（Ｓ１１でＮＯ）、sameLenをインクリメントしない。フォーカスが表示されている００１番の文字列の８番目の文字がＨであり、line[１]＝００３の文字列の８番目の文字がＰであるので、異なっている（Ｓ１０でＮＯ）。すなわち、line[１]＝００３の文字列をチェックし終えた時点で７文字が同じであることが特定されている。

【００３４】

再び、制御部２は、ｉをインクリメントし、文字列変数Strに、line[２]＝００５の文字列である「ＡＢＣＤＥＦＧＨ２」を代入する（Ｓ９）。

【００３５】

制御部２は、maxStrLen＋j 文字目について、フォーカスが表示されている文字列の文字と、line[i]で特定される文字列の文字とが同じであるかを判断する（Ｓ１０）。ここでは、フォーカスが表示されている００１番の文字列の６番目の文字がＦであり、line[２]＝００５の文字列の６番目の文字がＦであるので、同じである（Ｓ１０でＹＥＳ）。しかし、sameLen＝７であり、maxStren＋j＝６以上であるので（Ｓ１１でＮＯ）、sameLenをインクリメントしない。同様に、フォーカスが表示されている００１番の文字列の７番目の文字がＧであり、line[２]＝００５の文字列の７番目の文字がＧであるので、同じである（Ｓ１０でＹＥＳ）。しかし、sameLen＝７であり、maxStren＋j＝７以上であるので（Ｓ１１でＮＯ）、sameLenをインクリメントしない。

【００３６】

フォーカスが表示されている００１番の文字列の８番目の文字がＨであり、line[２]＝００５の文字列の８番目の文字がＨであるので、同じである（Ｓ１０でＹＥＳ）。そして、sameLen＝７であり、maxStren＋j＝８よりも小であるので（Ｓ１１でＹＥＳ）、sameLenを８にインクリメントする（Ｓ１２）。次に、フォーカスが表示されている００１番の文字列の９番目の文字が３であり、line[２]＝００５の文字列の９番目の文字が２であるので、異なっている（Ｓ１０でＮＯ）。すなわち、line[２]＝００５の文字列をチェックし終えた時点で８文字が同じであることが特定されている。

【００３７】

その後、ｉが３にインクリメントされると、ｉがＮと等しくなるので（Ｓ１５でＮＯ）、制御部２は、フォーカスが表示されている文字列について、選択されていない文字列と、先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字を８番目の文字に特定する。制御部２は、フォーカスが表示されている文字列を第１速度で左方向（表示されていない文字が順次表示される方向）にスクロール表示させる（Ｓ１７）。つまり、図２（ａ）から（ｄ）に向かってアルバムリストの表示が第１速度で移り変わる。

【００３８】

制御部２は、sameLenで特定される文字が表示されたか否かを判断する（Ｓ１８）。つまり、選択されていない文字列と先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字である８番目の文字（ここではＨ）を表示し終えたか否かが判断される。さらに言い換えると、選択されていない文字列と一意に区別できない文字を全て表示し終え、次の文字がスクロール表示されることにより、フォーカスが表示されている文字を一意に特定できるかを判断する。図２（ｄ）のように８番目の文字であるＨが表示されると（Ｓ１８でＹＥＳ）、制御部２は、スクロール速度を第２速度（第１速度よりも低速）に変更し、第２速度でフォーカスが表示されている文字列を左方向にスクロール表示させる（Ｓ１９）。つまり、図２（ｅ）～（ｆ）に向かっては第２速度でスクロール表示される。

【００３９】

このように、フォーカスが表示されている文字列がスクロール表示される際に、フォーカスが表示されていない文字列と異なる文字が表示されるまでは高速でスクロールし、フォーカスが表示されていない文字列と異なる文字が表示されると低速でスクロールされる。従って、ユーザはフォーカスが表示されていない文字列と異なる文字をより確実に注視することができるので、フォーカスが表示されている文字と、フォーカスが表示されてい

ない文字とをより確実に区別することができる。しかも、最初から低速である第２速度で文字列をスクロールさせると、フォーカスが表示されていない文字列と異なる文字が表示されるまでに時間がかかり、その結果、フォーカスが表示されている文字と、フォーカスが表示されていない文字とをより確実に区別するまでに時間がかかってしまう。しかし、フォーカスが表示されていない文字列と異なる文字が表示されるまでは高速である第１速度でスクロールさせることによって、この問題を解決できる。

【００４０】

なお、図２（ｆ）の後、継続してスクロール表示が実行され、先頭の文字が再度表示されるようになるが、最後尾の文字である３が表示されなくなると（つまり、sameLenで特定される文字から最後尾の文字までの文字（フォーカスが表示されている文字を一意に特定できる文字）のいずれもが表示されなくなると）、第２速度から第１速度に再び変更されるとよい。すなわち、フォーカスが表示されている文字列について、選択されていない文字列の少なくとも１つと、先頭文字から同じ文字が連続する最後の文字の次の文字から最後尾の文字までを表示している間だけ第２速度でスクロール表示され、その他の期間は第１速度でスクロール表示される。

【００４１】

以上、本発明の好ましい実施形態について説明したが、本発明はこれらの実施形態には限定されない。情報表示装置はコンテンツ再生装置内に設けられていなくてもよく、例えば、コンテンツ再生装置を制御するコントローラに設けられてもよい。また、サーバに記録されたコンテンツをクライアントがネットワーク経由で取得して再生するネットワークＡＶシステムにおいて、クライアントに情報表示装置が設けられてもよい。また、クライアントを制御するコントローラに情報表示装置が設けられてもよい。情報表示装置が表示する情報はコンテンツ情報に限定されず、例えば、商品の在庫管理システムにおいてリスト表示される製品コードであってもよい。情報表示装置の上記処理をコンピュータに実行させるためのプログラムおよびこれを記録した記録媒体という形態で提供されてもよい。

【産業上の利用可能性】

【００４２】

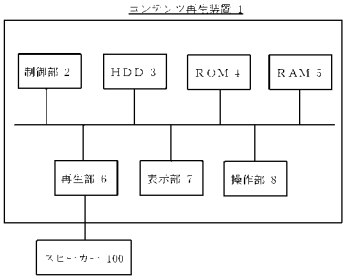
本発明は、ＨＤＤレコーダやＤＡＰ等のコンテンツ再生装置に好適に採用され得る。

【符号の説明】

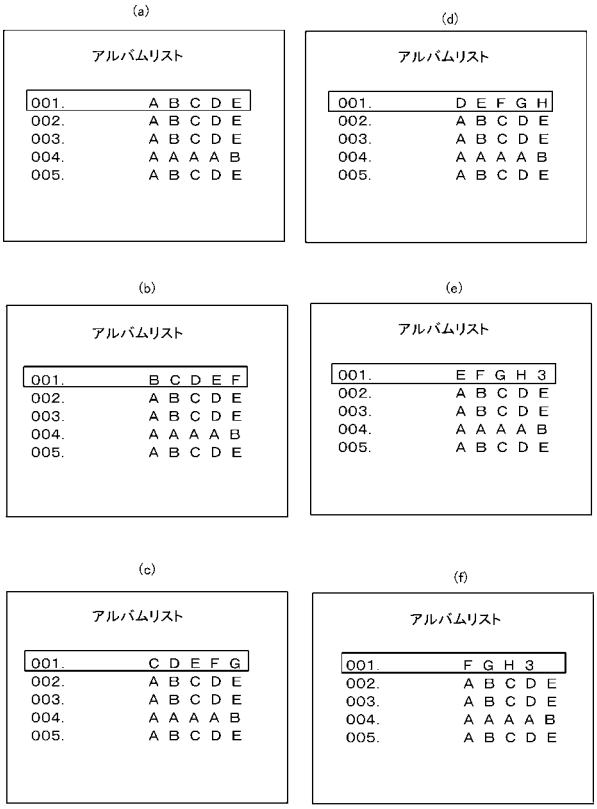
【００４３】

| | |
|---|---|
| １ | コンテンツ再生装置 |
| ２ | 制御部 |
| ３ | ＨＤＤ |
| ４ | ＲＯＭ |
| ５ | ＲＡＭ |
| ６ | 再生部 |
| ７ | 表示部 |
| ８ | 操作部 |

【図１】



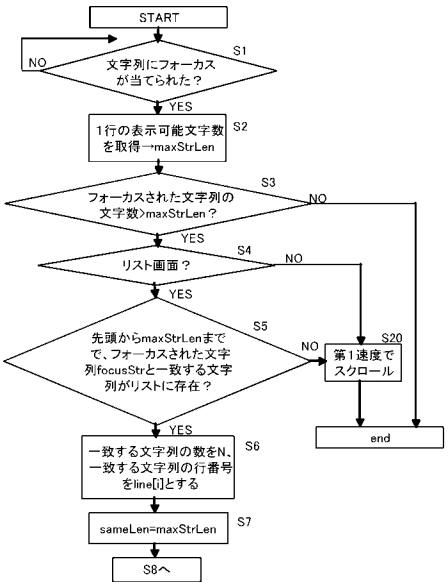

【図２】



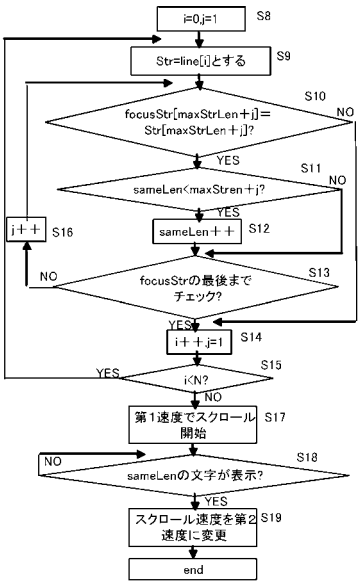

【図３】

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 001 | A | B | C | D | E | F | G | H | 3 |
| 002 | A | B | C | D | F | F | G | | |
| 003 | A | B | C | D | F | F | G | P | |
| 004 | A | A | A | A | B | | | | |
| 005 | A | B | C | D | E | F | G | H | 2 |

【図４Ａ】




【図４Ｂ】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開２００９－０２０１５９（ＪＰ，Ａ）
特開２００７－０９４９８７（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－０１５７２２（ＪＰ，Ａ）
特開２００２－０８２６６４（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｆ　３／０１、　３／０４８、１７／３０、
Ｇ０９Ｇ　５／００－　５／４２